



長年働く方、 復職される方が多いのは、 働きやすい会社の 証拠だと思います。

竹内工業株式会社 佐藤 楠さん



代表者名：金谷 貴光
住 所：〒131-0041 墨田区八広2-59-2
社 員 数：53名(うち女性29名)※平成30年8月末現在
設 立 年：昭和21年12月
電 話：03-3619-9081
ホームページ：http://takeuchi-co.com

竹内工業株式会社

墨田区で設立73年、時代とともに変化するニーズに対応し、化粧品容器、主に口紅容器を設計・製造しています。製造工程の大部分は中国・天津工場へ移行し、今では世界中に製品を提供しています。日中相互の交流研修や社内行事を定期的に行うなど、従業員同士の繋がりを大切に、明るく元気に前向きに努力し続けています。

就職のきっかけはなんでしたか？

福島県に住んでいて、東日本震災の直後に高校三年生になりました。予想できない状況の中、仙台で開かれた「がんばろう！東北 新規高卒者就職面接会」に参加したときに当社の存在を知りました。会場では製造現場での仕事が多く見つけたのですが、中でも化粧品容器という、自分にも馴染みがあるものをつくらせている会社だということ、品質管理は力仕事ではないので自分でもできるかなと思ひ、面接を申し込みました。事業内容や検査の仕事についても丁寧に説明してくれたのを覚えています。



入社して意外だったことはありますか？

取引先が大手企業ばかりということもあって、もっと大きな会社かと思っていたけれど、3年ほど、会社のそばにある寮で生活させてもらいましたが、夜になるとすごく静かで…私が持っていた東京のイメージとはちょっと違いましたけど、スーパード近くで暮らしやすいかったです。

今のお仕事について教えてください。

入社して2年ほどは、検査員の仕事に集中していましたが、今は事務業務や社内の庶務業務なども担当しています。この先も、あまり部門の枠にとらわれずに任せてもらった仕事をきちんと仕上げていきたいです。

他に新卒採用の方はいましたか？

新卒での採用は16年ぶりだったそうです。多くの社員さんにとって、私は孫や娘と同じくらい年齢が離れていました。これまでも職場になじめず若い人が辞めてしまつており、実は仙台まで来ていた社長(当時は製造部長)も、絶対に新卒を探らなくてはという思いはなかつたそうです(苦笑)。相談会のあと、東京で面接をして食事をする中で「現場で働けそうだな」と、社長が感じてくれたことで採用が決まったのですが、入社してみると、みなさんが受け入れてくれて、すんなり馴染むことができました。検査員はほとんどが女性で、かわいがってもらっています。



当社の製造部門の多くは中国の天津工場にあって、最近では受注が多く、月間で200万個ほどの口紅ケースを出荷しています。百貨店やドラッグストアなどで、自分たちが検品して送り出した商品を見かけたとき、なかにそれを手にとっててもうえている場面を見ると「よ」と思います(笑)。女性としては、キレイな化粧品容器を扱う仕事は単純に楽しいです。

働く上で大切にしていることはありますか？

これはきちんと伝えますが、相手の気持ちを考えて伝えるように気を付けています。仕事に関しては素直にアドバイスを聞くことができています。それもちょうど人間関係がよければ自然とできることなので、これからはみなさんと良い関係を築き、社内の架け橋的な存在になりたいです。

社内の制度や雰囲気、働きやすさ、感じていることはありますか？

長年続いていて、いろいろなことがありますが、残業も有給休暇の取得も社員の希望を差に決めているところがいいと思います。忙しい時期はラインの状況を見て製造部長が「今日は何時時間残業すれば予定通り進むかを判断し、出られる人が申し出て必要な残業時間を埋めていきます。決して残業を強制されることはありませんし、休日出勤も自分の裁量で決めます。有給も互いに融通し合っていて取るので、取得率もいいです。イベントが2ヶ月に1度開かれています。私にとっては働きやすさにつながりました。すぐに社員みなさんの顔を覚えることができ、仕事の上でも話しやすいくなりました。定年退職した方や社員のご家族も来てくれて、当社の歴史の長さや、人を大切にしてきた社風も感じます。長く勤めている方も、子育て後に復帰されている方も多いため、働きやすい環境なのだと思います。

Boss's Voice 金谷 貴光さん



佐藤さんは16年ぶりの新卒採用で大変だったと思いますが、場の雰囲気を感じる力が高く、年齢の離れたパートさん、日替わりで仕事に入る派遣さんのふところにも入り込んで、いい関係をつくってくれています。おかげで、社内の雰囲気は随分変わりました。彼女には、品質管理以外の細かい仕事もお願いしています。例えば「掃除の当番表をつくって」と伝えれば、その作成だけではなく、一人ひとりにレクチャーし、運用まできちり引き取ってくれるのが本当にありがたいと思っています。他部門が忙しいときは、自然とサポートしてくれています。長年、検査業務はほとんど女性が担ってくれています。この先も、佐藤さんのように柔軟に対応してくれる方と一緒に働けたらと思います。

当社は1934年に竹内錬金として創業以来、墨田区八広で化粧品容器をつくり続けてきました。大手メーカーさんから相談を受けて試作を繰り返し、量産するのが仕事です。店頭や広告上で当社の製品を数多く見つけられるのは、多くのメーカーさんから信頼いただき、お付き合いが長く続いているからこそ。これからも信頼に応えていきたいです。